

行政改革推進計画 新規追加項目

・ 事務事業の見直し

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管		
			13	14	15	16	17			
137	消防職員の被服等支給品の見直し	消防組織法に基づき、さいたま市消防吏員被服等の給与及び貸与に関する規則において定めた被服等の支給品について見直しを図り、その経費を未整備の被服の経費にあて被服整備の充実を図る。	/			検討	実施	総務部財務課		
		効果・目的				今後の予定				
		効率的な被服等の整備を図る。				3市合併後に進めてきた被服の統一整備の中で、未整備の被服が残っており、支給品の見直しを図ることで、今後職員に支給する被服の整備を円滑に進める予定。				
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管		
13	14	15	16	17						
138	火災予防イベントのあり方及び実施方法の見直し	市民と消防の連携による火災予防の普及啓発と消防に対する理解を深めてもらうことを目的に、消防フェアを年1回開催している。また、市内事業所の自衛消防隊の参加により屋内消火栓操法の競技大会を年1回実施しているが、有効性、効率性、公平性の観点から事業の見直しを図る。	/			検討	検討(一部実施)	警防部 予防課		
		効果・目的				今後の予定				
		行政と市民、自治会、自主防災組織、事業所等との連携及び協働による事業を実施することにより、地域全体での防火意識の高揚及び適切な自主防災活動が構築され、安全、安心なまちづくりにつながる。				<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民に火災予防に対する意識高揚を図るための方策を検討する。(例 区民まつりとのタイアップ) ・本来の初期消火活動の重要性及び自衛消防隊の資質の向上を図るための方策を検討する。(例 講習会方式による受講認定証の交付) 				
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管		
13	14	15	16	17						
139	市が支払う公共料金の一元化事業	公共料金(電気、水道、ガス、電話、下水道)の請求をデータによるものとし、一括払いにする。	/			検討	準備	出納課		
		効果・目的				今後の予定				
		年間約 20,000 件ある支出命令書及び 30,000 枚の納付書をデータ請求、一括払い方式にすることにより、出納事務の簡素合理化と事務負担の軽減を図る。				平成18年度の運用を目指し、本年度から検討を開始する。				

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管		
			13	14	15	16	17			
140	配水管理業務一元化事業	現在、東部、西部の2か所の配水事務所でやっている配水管理業務を東部配水事務所に一元化し、この効率化によって、生じる人員を活用し、人員と組織の活性化を図る。	/			準備	実施	給水部 配水課		
		効果・目的				今後の予定				
		配水を一括管理することにより、合理的な運営がなされ、人員の効率的な配置が可能となる。				現在2か所で行っている配水管理業務を 16年度 に装置一元化設置等工事を行い、 17年度 から1か所による配水管理を行う。				

・ 民間活力の有効活用

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
141	管理部門民間委託化等の検討	民間等に任せることが可能な管理部門事務事業を抽出し、委託化あるいは非常勤職員の活用等を検討する。	/			対象事業抽出	検討	改革推進室			
		効果・目的				今後の予定					
		民間に任せるべきは任せるという視点で、事務の効率化を図る。				平成 16年度 中に対象事業を抽出し、 17年度 に事務の効率化を検討する。					
142	公の施設の管理方法の検討	公の施設の管理運営について、「直営」、「指定管理者」、「民間譲渡」等 最も適切な方法を全庁的に検討する。	/				検討	改革推進室			
		効果・目的					今後の予定				
		市民サービスの向上、運営経費の縮減を、更に図ることが出来る。					平成 17年度 以降、各局で検討を行い、 18年度 以降の予算に随時反映させていく。				

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
			13	14	15	16	17					
143	庁用乗用車の委託化	庁用乗用車(大型バス、マイクロバスを含む)の更新時及び法令等により運行規制対象となる車両については、順次民間委託化を図る。					計画策定	財政部 庁舎管理課				
		効果・目的					今後の予定					
		車両の維持管理経費等の経費の削減が図れる。 委託車両の導入により、必要な時に効率的な配車ができる。 庁用乗用車の委託化により、駐車場の有効活用が図れる。					<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度、庁用乗用車の委託化計画策定 平成18年度以降順次委託車両を導入 					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
13	14	15	16	17								
144	交通災害共済事業の見直し	交通災害共済については現在、直営方式(市で管理運営)で実施しているが、民間損害保険会社等への委託を検討する。					検討	検討	市民部 市民総務課			
		効果・目的					今後の予定					
		民間保険制度や共済制度が普及・充実するなど、社会情勢が変化しているので、事業の見直しを行い効率的な事業推進を図る。					交通災害共済事業については、平成17年度に検討委員会などを設置し、事業のあり方について検討し、平成18年度実施予定。					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
13	14	15	16	17								
145	保育園のあり方の検討	保育所待機児童を解消するために創設する保育所は、幼稚園併設型も含め民設民営による整備とする。					検討	検討	福祉部 子育て支援課、保育課			
		効果・目的					今後の予定					
		民間活力の活用により、サービスの向上及び経費の削減が図られる。					公立保育園の老朽化が進んでいる施設について、建て替えのための計画を策定するとともに、併せて建て替えを含めた民間委託についても検討していく。					

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
			13	14	15	16	17					
146	効率的な収集体制の構築	現在、旧市域ごとの収集体制を組む中で、より一層効率的な委託・直営地域の見直しを図るため、可燃ごみ収集の直営比率の数値目標を定め、全市域で効率的な収集体制を構築する。	/				検討	逐次実施又は一部実施	環境部 廃棄物政策課			
		効果・目的					今後の予定					
		効率的な収集体制の構築を図る。					平成16年度に全市にわたる効率性等を検討する。					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
147	焼却業務の効率化	施設ごとに相違のある運転体制等を精査し、施設における最適な業務内容とするため人員配置等を含め効率化を図る。	/						検討	環境部 廃棄物政策課		
		効果・目的						今後の予定				
		施設の運転体制等を見直すことで、効率的な運転管理が行える。						平成17年度から運転体制を個々に精査し、施設ごとの効率性を検討する。				
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
148	図書館管理運営の見直し	主幹的業務を除く窓口業務(貸出、返本、書架整理等の定型的業務)について委託化を検討する。また機械化、あるいは嘱託職員の配置等を含め総合的に検討し、管理運営方法の見直しを行う。	/						検討	検討	生涯学習部 北浦和図書館	
		効果・目的						今後の予定				
		管理運営方法の見直しを行うことにより、市民サービスの向上、管理経費の縮減が図られる。						平成20年度、新中央図書館開設を目的に業務及び人員配置を見直す。				

・健全な財政構造の堅持

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
149	市立病院経営健全化のための中期経営計画の策定	市立病院は、住民に不可欠なサービスを安定的に供給する役割を有しており、中・長期的な観点から計画的に経営を推進する。	/			準備・検討	策定	事務局 財務課			
		効果・目的				今後の予定					
		中期経営計画(事業運営の基本方針、財政計画等)を策定することにより、経営の健全化・効率化等経営基盤の強化が図られる。				平成17年度中の策定を目指し、準備、検討を進める。					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
13	14	15	16	17							
150	水道用地の有効活用	使用頻度の低い土地又は利用していない土地について局内に検討委員会を設置し、土地の売却、等価交換等の処分方法を含め、有効利用の方策を調査検討する。	/			調査	委員会設置	業務部 管財課			
		効果・目的				今後の予定					
		・未利用地の把握・情報の共有化 ・公有財産の有効活用が図れる。				平成16年度は現状把握を行う。 17年度に委員会を設置し、活用の方針・方策を検討する。					

・職員の意識改革・能力向上

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
151	人事評価制度の導入	複雑・高度化、多様化している行政ニーズに的確に対応し、地域における様々な課題を自らの判断と責任において自主的・主体的に解決していくといった分権型社会にふさわしい組織に変容させていくため、職員の能力・業績を重視した公正・公平な人事評価を実施し、職員自身の意識改革と能力開発を効果的に推進していく。	/			検討	検討(試行)	人事部 人事課			
		効果・目的				今後の予定					
		職員の能力・業績を適正に評価することにより、人材育成や任用管理において客観性・透明性が確保され、職員の意識変革や組織の風土改革が図られ、市民生活・市民満足度の向上につながっていくことが期待される。				平成16年度 導入に向けての制度設計、講演会の開催 平成17年度 評価制度の試行 平成18～19年度 評価制度の実施					

・市民との協働・開かれた市政の実現

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
			13	14	15	16	17					
152	住民参加による維持管理 (高沼用水路整備事業)	16年度、市民参加型による構想を策定中の高沼用水路については、整備後、維持管理を地域住民にお願いしていきたい。	/				市民参加・構想	現況調査	土木部河川課			
		効果・目的					今後の予定					
		市民との協働により、草刈や清掃等を行うことで、市民の川に対する関心や愛着が深められていくとともに維持管理費の軽減が図られる。					16年度に住民参加による構想を策定し、整備工事が完了した区間から地域住民による維持管理をお願いしていく。					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
13	14	15	16	17								
153	環境会計の導入事業	水道事業は電力を中心に多くのエネルギーを消費することから、環境保全への取り組みが求められている。 したがって、これら環境負荷対策に投入した費用と、その抑制効果を定量的に整理し、公表を行なう。	/				調査準備	委員会設置	業務部 財務企画課			
		効果・目的					今後の予定					
		環境負荷の低減、並びに、市民へ環境保全活動の情報を提供することで、市民参加型の水道行政を推進し、もって、公共の福祉に貢献することができる。					平成16年度は、他都市等の実態調査を行う。 17年度において、委員会を設置し、各部署の活動状況と排出される環境負荷の内容を整理する。					
大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管				
13	14	15	16	17								
154	市民との協働による事業 運営の導入(民家園)	①ハーベストクラブ、②ホテルの育成、③高野隆仙を偲ぶ茶会以上の3事業について、ボランティアの導入を図り、利用者の増加を目指す。	/				計画作成	一部実施	生涯学習部 浦和くらしの博物館民家園			
		効果・目的					今後の予定					
		①館の特色ある行事を市民参加の協働作業に位置づけ、利用者増を図ることが出来る。より多くの市民の参加希望に応えることが出来る。 ②上記事業の職員の負担を軽減し、その分を他の事業の展開及び新規事業に充てることが出来る。					①ハーベストクラブは平成17年度からボランティアを導入したい。 ②ホテルの育成については、地元の協力で活動を開始し、2～3年後には鑑賞会を開催できるように努めたい。 ③茶会などを開催し、「旧高野家離座敷」の活用を進める。					

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
155	委員会記録検索システムの導入(委員会記録のインターネット化)	本会議の会議録検索システムに委員会記録を掲載し、インターネットを活用したシステムの充実を図る。	/			委員会記録の作成	準備	議事課			
		効果・目的				今後の予定					
		委員会の審査経過、結果について、積極的な情報の発信に努め、開かれた市政の実現を図る。				16年度から作成する委員会記録を、平成17年度に検索方法等のシステムについて検討、データ登録し、平成18年度中にインターネット上で閲覧可能にする。					

・ ITの活用

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
156	職員IDカードの作成	平成17年度から情報管理の徹底を目的として、ICカードを利用した職員認証システムを稼動するが、これに併せて、ICカードと職員証・名札を一体化したIDカードを全庁的に導入、首にかけることも可能とする。	/			検討	導入	人事部 人事課			
		効果・目的				今後の予定					
		電子決裁等にかかる職員認証にICカードを用いることにより、情報管理のより一層の徹底化を図ることができる。また、カードの券面を名札として利用することで、従来のものより氏名が大きく表示でき、窓口における住民サービスの向上につながる。				ICカードについては、勤務時間管理等さまざまな可能性があることから、さらにその活用方法を研究していく。					

大綱コード	事務事業	事業概要	計画年度					所管			
			13	14	15	16	17				
157	レセプト・3医療費電算処理システムの導入	診療報酬等請求事務のIT化を推進するものであり、磁気レセプト(診療報酬請求明細書)及び3医療費(乳幼児・心身障害者・ひとり親家庭等医療費)請求明細書を電算処理により作成する。	/			検討	準備 試行	心身障害総合センター ひまわり学園 医務課			
		効果・目的				今後の予定					
		診療報酬請求における院内審査の効率化(2回審査が1回のみ)と請求事務の省力化が実現し、月末・月初のレセプト作成事務の煩雑さの解消や3医療費も連記式請求明細書になるなど、請求事務に要する時間の短縮や経費縮減が図られる。				17年度において、磁気レセプト請求等の準備・試行(審査支払機関との確認試験)を行い、18年度当初から本格稼動とする。					

※ 既存「事務事業」の削除

行政改革推進計画【事務改善等による事務の効率化】

大綱コード56 「図書館返本ポスト設置事業」(生涯学習部 北浦和図書館)

(理由) 返本ポストの設置は、場所の確保、ポスト購入費、本の搬送経費、設置工事費等課題が多く、また、今後の図書館整備計画を勘案すれば、返本についての市民の利便性はさらに高められるため削除する。